

30
2006

最新問答

島村東洋編

英文典

附

最新八年車周

官立諸學校入學試驗問題

30
2006

特 65
13

英文法受験方法に就きて

Grammar に就きても英文和譯國文英譯につきてもまたは書取につきてもすべて英文を學ぶ所の學生に希望して置きたいのは Sentence を暗誦してもらいたいと云ふ事があります。此の如き事は、一寸聞いたばかりではつまらぬ事のやうに思ひますけれども一度實行して見ますれば如何程力がつくかわかります。

それから根氣よく多くの書を読むといふ事でもあります。始めは非常に苦になりますけれども慣れますれば非常に樂みになります尤もむつかしいものは進めません教科書よりは寧ろ易いものを撰ぶ方がよろしうございます。或は教科書以外に英字新聞を読むのもよろしうございます。これも始めの程は随分苦しいのでありますが、讀みなれるに従つて、さして苦しい事もなく終にはあたりまへの日本文を読むのと少しも違はな

明治
41 4 31

いやうになります。私は一番これがよいと思ひますから常に之を英文を學んで居るものに進めて居りますが長く實行してくれる人が少ないのは非常に遺憾に思ひます。その代り實行してくれる人は實に豫想外に進歩してくるのでございます。尤も新聞を讀みますのに一々字書は引かなくても、よいので大體の意味が解かるまでの程度に字書を引けばそれで十分であります。追々慣れて來ますれば非常に容易に意味がわかつてまゐりまして面白味が出て來ます。面白味が出て來ますればもう其人の學力の進歩しつゝある證據であります。

斯くなつて來ますと従つて Grammar の智識も自然に増してまゐりまして Verb, Preposition の用ゐ方なども困難なく出來ます。勿論 Grammar の一般智識はよく心得て置かなければなりません。Noun の Plural, Singular 及び adjective の Comparison などは格別困難ではないのでありますけれども平常の

注意が足りない爲め極くつまらない誤りをするのであります。また Simple, compound, Complex sentences の關係なども一度よく了解して居ればごく易いのでありますからよく注意してもらいたいのであります。

次に Preposition の用法は随分難いのもあります。試験問題として多く普通のもので出るにも係らず受験者は殆ど出來ないのであります。三十九年度の高等學校の問題に I have been invited—mr. B.—dinner の間に對して by, after; in, at; on, after; from, after 等種々なる間違をして居ります。Correction の問題に就きまして理由を示めせとも書いてないのに折角出來て居ります所を理由を書いて失敗したものもあります。一例を示せば、三十九年度の高等學校問題に The flowers smell very sweetly を The flowers smell very sweet と完全に出來たと思へば次ぎのやうな事を書きまして失敗した人がありました。

(註) sweetly の ly を費き sweet となす
 very なる adjective あるを以て sweet に ly を
 附する要なし若し sweetly を存在せんとな
 れば very を消す
 Correction の問題に就きまして理由を附せ
 えない時は決して理由を附してはいけませ
 ん要するに受験者は常に多くの練習をして
 始終注意を怠らない事を切に希望致しま
 す

最新問答全書英文典

目 次

第 壹 編

第壹章	總論1
第二章	名詞 Noun.3
第三章	形容詞 Adjective.8
第四章	代名詞 Pronoun.14
第五章	動詞 Verbs.19
第六章	副詞 Adverb.44
第七章	前置詞 Preposition.49
第八章	接續詞 Conjunctions.59
第九章	間投詞 Interjections.65

第 貳 編

第壹章	總論68
第二章	名詞71

(2)

目次

第三章	形容詞	75
第四章	代名詞	78
第五章	動詞	80
第六章	副詞	87
第七章	前置詞	89
第八章	接續詞	91

附

官立諸學校入學試験問題

最新問答全書英文典目次終

英文典

(1)

最新問答全書

英文典

第一編

第一章 總論

1. Sentence (文章) とはいかい

曰く文章とは語の結合にして完全なる意義を表示する者をいふ完全なる意義とは或る一事柄が全く云ひ現はされ誰れにても充分に其の何たるを知ることを得るをいふなり

2. 文章に幾何の種類ありや

曰く五種類あり曰く確言文、曰く命令文、曰く疑問文、曰く願望文、曰く感嘆文是れなり

3. 確言文はいかい

曰く或る事物を單に肯定し若しくは否定する文を云ふなり故に確言文 Assertive と稱す

4. 命令文とはいかい

曰く命令若しくは禁止の意を含む文章をいふ即ち Imperative と稱す

5. 疑問文とはいかい

曰く事物に關して問を設くる文を疑問文 Interrogative と稱す

6. 願望文とはいかい

曰く願望を表示する文を願望文 Optative と稱す

7. 感嘆文とはいかい

曰く確言をなすと同時に心中に感情をも共に表示する文を感嘆文 Exclamatory と稱す

8. 主辭とはいかい

曰く主辭とは文章に於て或る事物が言はるゝ主体となる者にして人間又は事物を表はせる語を主辭即 Subject といふなり

9. 賓辭とはいかい

曰く賓辭とは主辭なる人間又は事物に關して或る

事をいひ現はす語を文章の賓辭即ち Predicate といふなり

10. 句とはいかい

曰く句とは語が結合して意義をなすといへども完全なる意義なさいる者を句即ち Phrase と稱するなり

11. 節とはいかい

曰く節とは一文章中の一部の文をいふなり即ち Clause といふなり

第二章 名詞 Noun

12. 名詞とはいかい

曰く名詞とは人間又は事物を名くるために用ゆる語なり

13. 名詞の種類を問ふ

曰く五種類あり固有名詞、普通名詞、集合名詞、物

質名詞。以上を實體名詞と稱し之れに抽象名詞の五つとなす

14. 固有名詞とは如何 Proper Noun.

固有名詞とは或る一個の特殊の人間若しくは或る一個の特殊の事物を他の凡ての人間又は凡ての事物より區別して示す名詞を云ふ

15. 普通名詞とはいかゞ Common Noun.

普通名詞とは特殊の人間又は事物を示すにわらずして同種數の各人若しくは各事物に通有する名なり

16. 固有名詞の普通名詞として用ゆる場合

いかゞ

曰く二あり第一は固有名詞が或る位階又は官職を示す時第二固有名詞が人間又は事物の或る種類を示す時

17. 集合名詞とはいかゞ Collective Noun.

集合名詞とは同種類の各個の人間又は各個の

事物の一群若しくは一集合を全き一團として示す名詞をいふ

18. 物質名詞とは如何 Noun of Material

物質名詞とは事物を構成する物質を示す者なり

19. 抽象名詞とはいかゞ Abstract Noun.

抽象名詞とは本体より離なれて或る性質状態若しくは動作を示す者なり

20. 實體名詞とはいかゞ Concrete Noun

實體名詞とは抽象名詞に反して視・觸・聽・嗅・味・等五官に感ずる事物に關しての名なり

21. 固有・物質・抽象・の諸名詞が普通名詞となる場合

曰く二つあり第一其の前に冠詞を置く時第二其の名を複數に變ずる時

22. 名詞の性とはいかゞ Gender

天然上の所謂性の別は尙文法上に於ても性の別な

り

23. 文法上性は幾つに別つや

曰く四種あり男性 Masculine 女性 Feminine 通性

Common 中性 Neuter となす

24. 名詞を性によりて分別すればいかい

曰く次のごとし

男性	}	固有名詞. 普通名詞
女性		

通性 普通名詞

中性	}	固有名詞
		普通名詞
		集合名詞
		物質名詞
		抽象名詞

25. 男性を女性より區別す三種の方法を問ふ

曰く第一別種の語の用ゐある時第二語の附加して

ある時第三男性の語尾に ess の附加してある時これなり

26. 名詞の格とはいかゝ Case

格とは名詞が文章中の他の語に對する關係若しくは此の關係を示せる形の變化を名詞の格と稱する

なり

27. 名詞の三格はいかゝ

曰く主格. 持格. 賓格. 是れなり

28. 主格とはいかゝ Nominative

名詞を動詞の主辭に用ゆるか又は呼びかけに用ゆる時には之を主格と云ふなり

29. 賓格とはいかゝ Objective

名詞を動詞又は前置詞の賓辭に用ゆる時は之を賓格と稱す

30. 持格とはいかゝ Possessive

持格とは常に持主たることを示す故にかくいふな

り故にこれを物主格とも稱するなり而してこの格
の名詞には普通 's を其の終りに附加する者どす

31. 名詞の數とは如何

名詞若し一個の事物を意味する時にはこれを單數
と稱し二個若しくは二個以上の事物を意味する時
にはこれを複數と云ふなり

32. 單數を複數とする方法はいかゞ

曰く普通は單數の終りに s を附加するにあり

33. 其の特別の場合を問ふ

曰く若し名詞が s. x. sh. ch. にて終る時には其の
語尾に es を附加するにあり而して y を以て終る
時には y を i に變へて es を附加すべし

第三章 形容詞 Adjective

34. 形容詞とはいかゞ

形容詞とは名詞を形容せんために用ゆる語なり

35. 形容詞の種類はいかゞ

曰く六種あり固有・叙述・量・數・指示・分配・これな
り

36. 固有形容詞とは如何 Proper.

曰く或る固有の範圍内に含まるゝ人間若しくは事
物に名詞の適用を制限する者なり

37. 叙述形容詞とは如何 Descriptive.

曰く其の語が示せる性質若しくは状態を備へたる
人間又は事物に名詞の適用を制限する者なり

38. 量形容詞とはいかゞ Quantitative

曰く其の語が示せる量若しくは度の事物に名詞の
適用を制限する者なり

39. 數形容詞とは如何 Numeral.

曰く其の語が示せる數若しくは順序の人間若しく
は事物に名詞の適用を制限する者なり

40. 數形容詞の別を問ふ

曰く別ちて二とす定 Definite 不定 Indefinite と
す

41. 定数形容詞とはいかい

曰く精密なる數を示す形容詞なり

42. 不定数形容詞とはいかい

曰くこれは精密に幾個といはずして若干の數を示
す者なり

43. 指示形容詞とはいかい Demonstrative

曰くこれは形容詞を用ゐて依て指示せられんとす
る人間若しくは事物に名詞の適用を制限する者な
り

44. 指示形容詞の二大別を問ふ

曰く定・不定これなり

45. 定指示形容詞とはいかい

曰く人間又は事物を精密に指示する形容詞をいふ
なり

46. 不定指示形容詞とはいかい

曰くこれは精密ならずとも或る意味にて人間若く
は事物を指示する形容詞をいふなり

47. 分配形容詞とはいかい Distributive

曰く名詞の示せる人間若しくは事物を個々別々に
若しくは個々の集合に見做すべきことを示して名詞
の適用を制限する者なり

48. 分配形容詞に屬する形容詞は幾個あるや

曰く四つあり即ち each, every, either, neither, こ
れなり

49. 形容詞の二大用法を問ふ

曰く一は屬性的用法二は叙言的用法なり

50. 屬性的用法とはいかい Attributive Uses

これは形容詞が直接に名詞を形容し殆ど合成名詞
の一種のごとくなれる時をいふなり

51. 叙言的用法とはいかい Predicative Uses

これは形容詞が文の叙言の一部分となれる様に用
ゆる法なり

52. 形容詞の代用言はいかゞ

曰く七つあり

第一分詞

第二畧したる或る分詞を有せる副詞

第三形容詞に用ゐたる名詞若しくは名動詞

第四持格の名詞若しくは代名詞

第五不定法の動詞

第六賓辭を有する前置詞

第七形容詞句即形容詞の用をなす句

53. 形容詞の比較とはいかゞ

曰く形容詞の大半量形容詞。數形容詞は程度の比
較をなし得べき者にしてこれを形容詞の比較と云
ふなり

54. 形容詞の比較に幾種ありや

曰く三種あり原級・比較級・最上級これなり

55. 原級とはいかゞ Positive

これは單純なる性質を示す者なり

56. 比較級とはいかゞ Comparative

これは同一性質の一層高さ度を示す者にして同種
類に屬する事物を併べ比較する時に用ゆるなり

57. 最上級とはいかゞ Superlative

これは同一性質の最大高度を示す者にして一事物
を同種類に屬する他の一切の者に比較する時に用
ゆるなり

58. 比較級及最上級を作る普通の方法はいか
ゞ

曰く二綴字以上より成る一切の形容詞及び二綴字
より成る大半の形容詞に於ては比較級を作るには
原級の形容詞に More を附加し最上級を作るには
Most を附加するにあり

59. 尙其の特別の場合を問ふ

曰く若し一綴字よりなり又は二綴字よりなる一部の形容詞に於ては比較級には er 又 r を附加し最上級には est 又は st を附加する者なり

第四章 代名詞 Pronoun

60. 代名詞とはいかい

代名詞とは名詞若しくは名詞同等言に代用する語を云ふなり

61. 代名詞の必要を問ふ

曰く代名詞の重要なる用は名詞の反覆使用を避け且一層明かに文章を表示することなり

62. 代名詞に関する三大要件はいかい

曰く第一代名詞は名詞に代用する者なれば其自身名詞なるか又は名詞に等しき者ならざるべからず
第二代名詞は其の前に現はれたる或る名詞に代用

する目的なれば原則としては其の名詞が記された後にあらざれば記すべからざるなり

第三代名詞は名詞に代用する者なれば代名詞は其の代用する名詞と同一の數、人稱、及性ならざるべからず

63. 代名詞の種類はいかい

曰く四種類あり第一人代名詞、第二指示代名詞、第三關係代名詞、第四疑問代名詞、これなり

64. 人代名詞とはいかい

曰く三種の人間を示す代名詞なり三種の人間とは
第一、話す所の人即ち第一人稱。
第二、話しかけられたる人を示す者即第二人稱。
第三、話され居る人間若しくは事物を示す者即ち第三人稱これなり

65. 人代名詞の形はいかい Personal Pronouns

曰く人代名詞の形は名詞と同じく其の性、數、格、は

少しも異なることなし

66. 人代名詞の二種の持格を説明せよ

曰く二種の持格とは次のごとし

	單 數	複 數
第一種	My They Her	Our Your Their
第二種	Mine Thine Hers	Ours Yours Theirs

67. 第一種の用法を問ふ

曰く持格代名詞を名詞の前に用ゆる時には第一種の形を用ゆるなりこの時は代名詞は形容詞が名詞を形容すると同様に名詞を形容する者なり

68. 第二種の用法はいかゞ

曰く第一代名詞と名詞の間に動詞ありて二者を分離せる時第二名詞を畧する時第三 of なる前置詞が代名詞の前にある時この三の場合に於ては第二種の形を用ふる者とす

69. 反照代名詞とはいかゞ

Reflexive Personal-Pronouns

反照代名詞は人代名詞に self 若しくは own を附加して形造る者なり

70. 反照代名詞の用はいかゞ

曰く反照代名詞は二種の目的に用ゆる者なり第一人間又は事物が彼自身に向ひて或る事をなすを示す爲にこれを用ふるなり第二代名詞の意義を強むるために用ゆるなり

71. 指示代名詞とはいかゞ

Demonstrative Pronouns

指示代名詞とは既に前に現はれし或る名詞を指示しこれに代用する者なり

72. 先行言とはいかゞ Antecedent

曰く指示代名詞の指示する所の名詞を云ふなり

73. 指示代名詞の主なる者を挙げよ

曰く次の如し

This That These Those One

Ones None Such

74. 關係代名詞とはいかい Relative

曰く關係代名詞とは指示代名詞と同様に前に現はれたる或る名詞に關係すと雖も指示代名詞と異なりて二個の文を連結する者なりこの故に關係代名詞は代名詞と接續詞の合せる者にして一に接續代名詞とも稱するなり

75. 最も普通の關係代名詞はいかい

曰く次のごとし

Who Which

76. 關係代名詞と先行者との關係はいかい

曰く Who 若しくは Which なる關係代名詞は「節」を其の先行者に有することを得べし又關係代名詞を用ゐて先行者を其の中に含ましめ以て省畧することを得るなり

77. 疑問代名詞とはいかい Interrogative

曰くこれは問を設くる代名詞なり

78. 疑問代名詞の形はいかい

曰く疑問代名詞には四種の形あり

第一動詞の主格

第二前置詞に續く主格

第三 Say なる動詞に續く主格

第四持格

第五章 動詞 Verbs

79. 動詞とはいかい

曰く動詞は或る人間若しくは事物に關して或る事をいふために用ふる語なり

80. 動詞の別はいかい

曰く動詞は別ちて三種とす第一他動詞第二自動詞第三別動詞これなり

81. 他動詞とはいかい Transitive Verbs

曰く動詞の示す動作が働作者のみに止まらず動作者より他の或る者に及ぶ時この動詞を他動詞と云ふなり

82. 他動詞の賓言 Object とはいかい

曰く他動詞は大抵一個の賓言を有するものなり而して賓言とは他動詞が其の動作若しくは感情が其自身に止まらずして他の或る人間若しくは事物に向て差向らるゝ時其の人間又は事物を稱して他動詞の賓言といふなり

83. 賓言の形はいかい

曰く賓言の形は普通に於てこれを六つとなす

第一名詞 Noun.

第二代名詞 Pronoun.

第三不定法 Infinitive.

第四名動詞 Gerund.

第五句 Phrase.

第六節 Clause.

84. 賓言の位置はいかい

動詞の賓言を示す名詞は其附屬する動詞の後に置くを常とすれども賓言が關係代名詞なるか或は疑問代名詞なるか或は賓言に用ゐたる名詞に強音 Emphasis を有せしむる時は賓言を動詞より前に置きて其の後に置かず

85. 重複賓言とはいかい Double Object

或る他動詞は其の後に二個の賓言を有することあり其の一は或る事物の名にして他の一は人間若しくは他の動物の名なるを常とす而して指示されたる事物を有接賓言と稱し指名されたる人間若しくは他の動物を間接賓言と稱するなり

86. 重複賓言の直接及間接を知る法は如何

曰く此二種の賓言の直接間接の如何は間接賓言が常に直接賓言よりも前にあることを以て知るなり

87. 間接賓言を直接賓言の後に置く時にはい

かいすべきや

曰くこの時には間接賓言の前に For 又 To なる
前置詞を用ゆべし

88. 變易(變成)動詞はいかゞ Factitive Verb,

曰く一の動詞が一個の賓言の外に叙述を完全なら
しめんがために尙他の一語又は數語を有すること
ありこの動詞を變易動詞と云ふなり

89. 變易動詞の完成言とはいかゞ

曰く變易動詞の其叙述を完全ならしむる爲に用ゆ
る附加語を稱して變易動詞の完成言 Complement
と稱するなり

90. 完成言の種類はいかゞ

曰く完成言となり得べき者は七種あり

第一名詞

第二形容詞

第三分詞 Participle.

第四其の賓言を有する前置詞

第五不定法の動詞

第六副詞

第七名詞節 Noun-clause.

91. 賓言としての關係代名詞の省畧につきて

説明せよ

曰く賓言たる關係代名詞を省畧する文に二種あり

曰く

第一動詞が他動詞なる時

第二動詞が自動詞なりといへども前置詞がこれ

に續く時

然れども賓言たる關係代名詞の省畧は關係代名詞
を連續的意義にて用ゐたる時に限るなり

92. 他動詞を自動詞に變する法はいかゞ

曰く他動詞を自動詞に變するには二法あり

第一 動詞を用ゆるに當り其の動詞が賓言（一個にても亦は數個にても）を有するとの考を起さしめざる如き一般の意義にてこれを用ゆる時

第二 反照代名詞を省畧する時

93. 自動詞とは如何 Intransitive Verbs

曰く動詞の示すところの動作が動作者のみに止まり動作者以外の或る者に及ばざる時この動詞を稱して自動詞と云ふなり

94. 完成叙説の自動詞とは如何 Intransitive Verbs of Complete Predication.

曰く自動詞にして其の意義を完全ならしむるための一個若しくは數個の附加の語を要せずして其動詞のみにて意義完全なる者を完成叙説の自動詞と稱するなり

95. 不完成叙説の自動詞とはいかい

曰く自動詞にして其の動詞單獨にては完全の意義をなさず其の叙説し餘す所の者を補ふために完成言を要することなり其の動詞を稱して不完全叙説の自動詞と稱するなり

96. 自動詞の完成言はいかい

曰く自動詞の完成言は變易動詞の完成言と同一の形を有する者なり

97. 主辭的完成言とはいかい

曰く完成言が自動詞の次にある時には主辭に關係する故に之を言辭的完成言 Subjective Complement. と稱するなり

98. 賓言的完成言とはいかい

曰く主辭的完成言に反して完成言が能動詞の變易動詞の次にある時には賓言に關係する故に之を賓言的完成言 Objective Complement. と稱するなり

99. 同類賓言とはいかい Cognate Object.

曰く自動詞には外界若しくは異種の事物を示す名詞續くことなしと雖も其の意義は多少自動詞中に含蓄する意義の名詞これに續くことありこの名詞を稱して同類賓言と稱するなり

100. 同類賓言の種類を問ふ

曰く五種あり

第一動詞より直ちに形造りたる同種名詞

第二類似の意義の同種名詞

第三省畧したる同種名詞を代表敘述する名詞

第四畧したる同種名詞を形容する形容詞

第五 it を用ゐて表示したる同種名詞

101. 前置動詞とはいかゞ

曰く動詞に前置詞を附加して之れを他動詞となすことを得べし此如き動詞を前置動詞 Prepositional Verbs

102. 他動詞二種の調ありいかゞ

曰く能動調及所動調なり

103. 能動調とはいかゞ Active Voices.

曰く能動調とは主辭が示せる人間若しくは事物が他の或る者に對して或る事をなす者を云ふなり

104. 所動調とはいかゞ Passive Voices.

曰く所動調とは主辭が示す人間若しくは事物が他の或る者より或る事をなしかけらるゝをいふなり

105. 或る文章を能動体より所動体に變する法いかゞ

曰くこの場合に於ては能動調動詞の賓辭は即所動調動詞の主辭となるべし

106. 遺存賓言とはいかゞ Retained Object.

曰く能動詞に於て二種の賓言を有する動詞は所動調に於ても尙ほ其の一を遺存するを得るなり其の賓言を稱して遺存賓言と云ふなり

107. 動詞に添へ用ゆることを得べき賓言に

幾種ありや

曰く五種あり

- 第一直接賓言 (他動詞に添へ用ひて)
- 第二間接賓言 (他動詞に添へ用ひて)
- 第三遺存賓言 (所動調動詞に添へ用ひて)
- 第四同種賓言 (自動詞に添へ用ひて)
- 第五反照賓言 (自動詞に添へ用ひて)

108. 變易動詞の能動調より所動調に變ずる

法いかいなるや

曰くこの場合には賓言的完成言を言辭的完成言に變ずるにあり

109. 動詞の法とはいか

曰く動詞が記述する其の方法を稱して動詞の法 Mood と稱するなり

110. 法の種類はいか

曰く法には四種あり而して其中三種はこれを定法

Finite mood と稱し他の一種はこれを Infinitive mood 即不定法と稱す其の定法はこれを分ちて三種即直接法、命令法、接續法とす。

111. 直接法とはいか *Indicative mood*

曰く直接法とは動作を事實として確言し又は説示する法をいふなり

112. 命令法とはいか *Imperative mood*

曰く命令法とは動作を命令し又は勸告する法を云ふなり

113. 接續法とはいか *Subjunctive mood*

曰く接續法とは動作を假定する法を云ふなり

114. 不定法とはいか

曰くこの法は普通動詞の前に *to* を置きてこれを形造になり

115. 定動詞の數、及人稱は如何

曰く定動詞の數及人稱は其の主辭と常相一致する

なり故に一、主辭單數なる時は其の動詞も單數ならざるべからず

一、主辭複數なる時は其の動詞も亦複數ならざるべからず

一、主辭一人稱なる時は其の動詞も亦一人稱ならざるべからず

一、主辭二人稱なる時は其の動詞も亦二人稱ならざるべからず

一、主辭三人稱なる時は其の動詞も亦三人稱ならざるべからず

116. 時とはいかゞ Tense

曰く時とは動作の時を示すものなり即ち動作が現在の時に於てなさるか又は過去に於てなされしか又は未來に於てなさるべきかを示すなり

117. 時の區別はいかゞ

曰く動詞の時は普通大別して次のごとし

第一現在 Present.

第二過去 Past.

第三未來 Future.

118. 動詞の時は各四種の形を備ふといふい

かゞ

曰く次のごとし

第一不定形 Indefinite.

第二連續形 Continuous.

第三完了形 Perfect.

第四完了連續形 Perfect Continuous.

119. 不定形とはいかゞ

曰く不定形とは動作の現在、過去又は未來かを最も簡單なる形にて示すものなり

120. 連續形とはいかゞ

曰くこれは即ち現在、過去若しくは未來の事件が尙持ち續けらるるか又は未だ全くなし終らざるを

示す者なり

121. 完了形とはいかい

曰く完了形とは即現在、過去、又は未來の事件が完全即完了の有様にてあることを示す者なり

122. 完了連続形とはいかい

曰くこの形は連続形と完了形との二意義を含むものなり

123. 直接法の動詞には三種の時と十二種の形ありいかい

次くのごとし

形 / 時	現在	過去	未來
不定形	同	同	同
連続形	同	同	同
完了形	同	同	同
完了連続形	同	同	同

124. 現在不定形はいかい Present Indefinite.

この時の用法は現在、過去、未來何時にても變せざる所の者を示す時に用ゆる者にしてこれに由て宇宙の眞理を表示する故に一に科學時とも稱す又この時は人間の生活及性質に永久若しくは慣習たる者は如何なる事を表示する時にも之を用ゆるなり又現在の時を或る特種の副詞若しくは句を用ゐて表示する時若しくは文意に現在の時を含む時にはこの時形は或る現在の事件に關することを得るなり又未來の時を或る特種の副詞若しくは句を用ゐて表示する時若しくは文意に未來の時を含む時には現在不定形は或る未來の事件に關することを得るなり又活者が文の活氣を添へん爲に或る過去の事件を恰かも眼前にあるごとく記述する時には現在不定形は或る過去の事件に關することを得るなりかくのごとき現在不定形は歴史に若しくは過去の事件を恰かも現在のごとく記述する故に歴史的現

在時とも稱するなり

125. 過去時不定形とはいかい

Past Indefinite

この時の用法は嘗て眞實なりしと雖も現在にては已に過去に屬せし或る事を記述するに在り故にこの過去時不定形は純然現在に關係せざるなり是を以て現在時不定形を科學時と稱するごとくこの時は歴史時と稱するなり

126. 現在時完了形とはいかい

Present Perfect.

この時の用法は完全したる事件を一種の意義にて現在の時に連續さする時に用ふるなり又過去の事件より起生する事物の状態が尙ほ現存せる時の外過去の事件に關してこの時を使用することなし又この時形は固より現在を示す故に如何なる副詞又は句にても過去を示すものを以てこれを形容す

るを得ず若しこれを形容する時には過去の意を示す者と現在の意を示す者と合する故に意義の撞着を生ずべし

127. 過去時完了形とはいかい Past Perfect

これは或る動作が他の動作の始まりし前に完了したることを言はんを欲する時にこの時を用ゆるなり故にこれは一に大過去とも稱するなり

128. 未來完了時とはいかい Future Perfect

この時の用法は次のことし

第一未來に於て或る事の完了するを示す爲に

第二過去に於ての或る事の完全することを示す爲に

129. 命令法とはいかい

曰く命令法を用ゆるは現在の時の二人稱に限るなり

130. 命令法を一人稱又は三人稱に用ふるにはいはいすべきや

曰く命令法を一人稱三人稱に用ゆるには Let なる助動詞を用ゆべし

131. 命令法の重なる用法はいかゞ

曰くこの法の重なる用法は第一命令. 第二教訓. 第三懇願を示す時に用ふるなり

又動詞が否定の意なる時即ち禁止の意なる時は現今は Do なる助動詞を用ひてこの法を形造るなり又時としては假定を表示するためにこの法を用ふることあり

132. 接續法とはいかゞ

曰く接續法とは或る他の文に接續するを常とし單獨にて用ゆること稀なり故に接續法と稱す

133. 接續法の用法はいかゞ

曰く接續法は目的. 願望. 條件. 又は疑念を表示するに用ゆるなり

134. 其の目的の場合はいかゞ

曰くこの場合に於ては That 若くは Lest なる接續詞が接續法の動詞に先立つなり may 及び might なる助動詞は That の次に用ふる Should は Lest の次に用ふるなり

135. 其の條件及び其結果の場合はいかゞ

曰く動詞が條件を表示する時には If なる接續詞の先き立つを常とす而して結果を表示する動詞は Would なる助動詞を用ゐてこれを表示す而して又この場合の接續法に於ては時としては If を畧することあり然る時には其の Should, had 若しくは were を主辭の前に置かざるべからず

136. 不定法とはいかゞ

曰く不定法とは主辭なる者と結合することなし故に不定法には數. 及人稱はなき者なり而して不定法は動作をなす者を記すにあらざして動作のみを記す者なり

157. 不定法の形はいかい

曰く不定法は其の形不定形、連続形、完了形、完了連続形の四種にして凡て現在時に限る者とす

138. 不定法の to を省畧する場合を問ふ

不定法の左の場合に於て其の to を省畧することを得

第一次に掲ぐる主動詞の次には to を畧す

Please, hear, Saw, Meed,

Feel, Dared, Made, Let,

Bade, watched, Beheld, Known.

第二助動詞の次には凡て to を畧す

第三 had better, had rather, had sooner, had as

soon...as のごとき句に於ては亦動詞の次

に to を省畧す

第四 Than なる接續詞の次に to を省畧す

第五 But なる前置詞の前に do なる動詞ある時

は But の次に to を省畧す

139. 不定法の二種類はいかい

曰く不定法に二種類あり其の形は同一なるも其の用法は全く異なるなり即ち一は名詞不定法（單純不定法）一は名動詞狀不定法又は形容不定法と云ふ

140. 名詞不定法はいかい

曰く名詞不定法は次のごとくに用ゆることを得べし

第一動詞の主辭に用ゆ

第二動詞の賓辭に用ゆ

第三動詞の完成言に用ゆ

第四或る前置詞の賓言に用ゆ

第五感嘆の一種に用ゆ

141. 名動詞狀不定法はいかい

これも次のごとくに用ゆることを得

- 第一動詞を形容するために
 第二名詞を形容するために
 第三形容詞を形容するために
 第四括弧を導入するために

142. 分詞とはいかい Participle

曰く分詞とは動詞と形容詞の合したる者なり故に
 一に動詞状形容詞とも稱するなり

143. 分詞の重複性質とはいかい

曰く分詞とは動詞と形容詞と相合してなりし者な
 れば故に常に二種の性質を有する者なり即ち一は
 定動詞の一部として即ち一は或る名詞を形容する
 形容詞にしてこれなり

144. 過去分詞とはいかい Past participle

曰く過去分詞の用法は其の動詞が自動詞なると他
 動詞なるとに従ふて異なるなり其の動詞が他動詞
 なる時には過去分詞は所動詞にのみ用ゐる自動詞な

る時に大抵は其の過去分詞を用ゆることなし然
 れども若し之を用ゆる時には必ず其の名詞の前に
 あるを要す

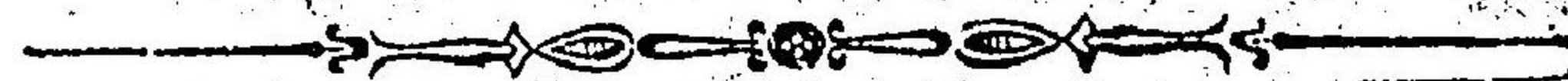
145. 過去分詞の特例はいかい

曰く動詞の過去分詞は時としてこれを或る永久の
 習慣状態若しくは性質を示すために用ゆることあ
 り

146. 分詞に含める意義はいかい

曰く分詞に含める意義を知らんには先づ名詞を形
 容する動詞状形容詞として解剖するを要す然れど
 も時としてはなほこの外の意義を含むことあり其
 の意義は其の分詞句を分詞節に變する時は一層充
 分に表示するを得べし而して分詞に含める意義は
 次の四なりとす

- 一 時
- 二 原因若しくは理由



三 條件

四 讓歩若しくは反照

147. 名動詞とはいかい Gerund

曰くこれは動詞と名詞の合したる者にして故に又動詞狀名詞とも稱せられたるなり

148. 名動詞の形はいかい

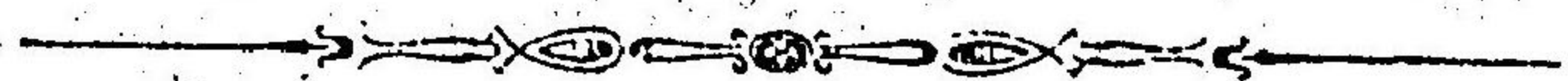
曰く名動詞には四種の形あり其の二は能動調にして他の二は所動調なり故に分詞の諸形に同じく而して尙は名動詞も分詞も共に動詞の一部なりとす

149. 名動詞と分詞との差異はいかい

曰く名動詞は名詞の一種類にして分詞は形容詞の一種類なり故に形に於ては類似すと雖も其の性質に於ては全く相異なる者と知るべし

150. 名動詞の重複性質はいかい

曰く名動詞は名詞と動詞と合したる複品詞なる者



なれば又こゝに二種の性質を有する者なり一は名詞の一種として一は動詞の一部としなり

151. 名動詞の三要件はいかい

曰く第一名動詞は抽象名詞の一種にして本來の抽象名詞又は名詞不定法と同一の意義を有すること

第二名動詞は或る動詞の一部なるが故に其の次に賓言を有することを得且つ賓言には尙五種類あること

第三名詞若しくは代名詞が人間若しくは他の動詞を示して名動詞の前にある時は持格ならざるべからざること

第六章 副詞 Apverb

152. 副詞とはいかい

曰く副詞とは名詞若しくは代名詞を除くの外何れ

の品詞をも形容するために用ゆる語なり

153. 副詞の種類はいかゞ

曰く副詞はこれを大別して三種となすなり

第一単純副詞 Simlde

第二疑問副詞 Interrogative

第三関係副詞 Relative

154. 単純副詞とはいかゞ

曰く今この副詞を其の意義に従ふて細別すれば次のごとし

第一時の副詞 Time.

第二場所の副詞 Place.

第三数の副詞 Number.

第四仕方の副詞 Manner 性質の副詞 Quality

第五量の副詞 Quantity 範圍の副詞 Extent 若し

くは度の副詞 Degree.

155. 疑問副詞とはいかゞ

曰く疑問副詞とは疑問を設くるために用ゆる副詞にして尙ほこれを其の意義より區別すれば次のごとし

第一時の副詞

第二場所の副詞

第三数の副詞

第四仕方の副詞 性質の副詞又は 状態の副詞

第五量の副詞又は 度の副詞

第六原因の副詞又は 理由の副詞

156. 関係副詞とはいかゞ

曰く関係副詞とは形は疑問副詞と同一なりと雖も疑問副詞の如く疑問を設けずして二個の文を一個に結合するなりこの故に関係副詞は副詞と接續詞とを合したる複品詞なり

157. 関係副詞の二要件を問ふ

曰く関係副詞は関係代名詞のごとく或る先行言に

關係すこれ第一なり第二は關係副詞は關係代名詞より形造ることなり

158. 副詞の比較の度如何

曰く或る種類の副詞は形容詞と同じく比較の度を有し其の形造りの方法も形容詞と同一なりとす

159. 副詞の形はいかゞ

曰く或る副詞は一致の形容詞と同一の形を有す而して大半の副詞は形容詞に ly を附加して形造るなり而してこの副詞と其の形容詞との中間には抽象名詞の存在するを常とす

160. 持格副詞とはいかゞ

曰く持格名詞より形造りたる副詞を時としては持格副詞と稱するなり例へば

Needs	Once
Twice	Always
Lengthways	Sometimes

Sideways

のほゞきこれなり

161. 副詞句とはいかゞ

これは即ち句の副詞の用をなす者にして其の句の種類を擧ぐれば次のことし

第一名詞の續ける前置詞

第二名詞と混和せる前置詞

第三形容詞の續ける前置詞

第四形容詞と混和せる前置詞

第五形容詞か形容せる名詞

第六前置詞と合成せる副詞

第七雜種の句

162. 副詞と合成せる動詞とはいかゞ

曰く動詞と副詞を慣習上常に繋かりて用ゐる兩者にて恰も一の語をなす時は動詞は副詞と合成せりと稱するなり此のほゞき副詞は詩に於ての外は動詞

の次にあるを常とするなり

163. 副詞の二用法をとふ

曰く副詞も亦形容詞と同じく其の用法に二あり

第一屬性的用法 Attributive use

第二叙言的用法 Predicative use

これなり

164. 屬性的用法とはいかゞ

曰くこれは副詞が普通の方法にて其の形容すべき語を形容する時即ち可及的其語の前又は後とに接近して位置をしむる時はこれを副詞を屬性的に用ゐしと云ふ

165. 叙言的用法とはいかゞ

曰くこれは副詞が文の叙言の一部たる時換言せば副詞を其の前にある動詞の賓辭に用ゆる時はこれを副詞を叙言的に用ゐしといふなり

第七章 前置詞 Preposition.

166. 前置詞とはいかゞ

曰く前置詞とは名詞若しくは名詞同等言の示す人間若しくは事物が他の或る者に對して如何なる關係に於てあるやを示すために名詞若しくは名詞同等言前に置きて用ゆる語なりこのとき名詞若しくは名詞同等言を賓言 Objects と稱す

167. 賓言と前置詞の關係いかゞ

曰く次のことし

第一賓言たる副詞

これは時若しくは場所の副詞は時若しくは場所の關係を示す前置詞の賓言となり得ることなり

第二賓言たる句

これは或る副詞句は單純副詞の如く前置詞の賓言に用ゐる得ることなり

第三賓言たる名詞節

これは名詞節は名詞若しくは代名詞と同様に前置詞の賓たることを得るといふことなり

168. 賓言を省畧する場合はいかい

曰く次の二場合あり

第一關係代名詞を畧する場合

第二指示代名詞を畧する場合

169. 前置詞の形いかい

曰く前置詞の形は六種あり

第一單純 Simple.

第二重複 Double.

第三合成 Compound.

第四分詞狀 Participial.

第五句 Phrase.

第六假体 Disguised.

170. 單純前置詞とはいか

曰くこれは一般の單純なる前置詞なり

171. 重複前置詞とはいか

曰くこれは單獨の前置詞にて充分に意義を表示する能はざる場合に於て用ふる前置詞なり

172. 合成前置詞とはいか

曰くこれは by 若しくは a なる前置詞と或る名詞形容詞若しくは副詞とが合成してこれを形造る者なり

173. 分詞狀前置詞とはいか

曰くこれは元來は書き現はしたる或る名詞若しくは省畧したる或る名詞に添へて獨立に用ゐたる現在分詞若しくは過去分詞をいふなり

174. 句前置詞とはいか

曰くこれは二個若しくは二個以上の語にして常に繋がりに用ゐ且つ單純前置詞にて終る者を句前置

詞又は前置詞句と稱するなり

175. 假体前置詞とはいかゞ

曰くこれは或る名詞若くは形容詞の添首言 Prefin
として如何に by を be に變し on を a 變すべき
や及び名動詞の前に如何に a を on に代用すべき
やこれ等の變化代用して前置詞となす者なり

176. 前置詞の用法はいかゞ

曰く前置詞の用法は次のごとく各性質に於て異な
り

第一原因又は原因を示す場合

From, of, Through,

For, Because of,

Owing to, in consequence of,

のとき前置詞を用ふ

第二結果を示す場合

To

を用ゆるなり

第三所有を示す場合

Of

を用ゐて表はすなり

第四交換即ち一事物を他事物に誤まる事實を表

示する場合

For

を用ゐて表はすなり

第五代用を示す場合

Instead of, In the place,

In lieu of

を用ゆべし

第六争闘又は反對又は防禦の意を表す場合

With Against For,

を用ゆるなり

第七對照を示す場合

With Tor After,

Notwithstanding,

In spite of, Dispite,

を用ゆるなり

第八適合又は一致を示す場合

After To

を用ゆるなり

第九例外を表す場合

Except, Save, But,

を用ゆべし

第十同格の念を表す場合

Of

を用ゆるなり

第十一材料及性質、及保有物を表す場合

Of

を用ゆべし

第十二價直相場或は割合を示す場合

At

を用ゆべし

第十三度割又は標準を表示する場合

By

を用ゆべし

第十四限界或は範圍を表示する場合

To Upto,

を用ゆべし

第十五書物若しくは言論の題目を示す場合

Of On About,

Concernin, Asto

Regarding In regard of

を用ゆべし

第十六推理、動機及び起原を示す場合

From

を用ゆるなり

第十七 向方或は目的を表はす場合

At, On, Upon,

For To

第十八 或る特殊の點に關する關係を表す場合

Of, In.

を用ゆるなり

第十九 比例を示す場合

To

を用ひ比較を示すれば

Than,

を用ゆるなり

第二十 事業を表示するには

Of, In About,

を用ゆるなり

第二十一 誓約を示す場合

By,

を用ゆるなり

第二十二 或る豫期したる事件に對する用意を示す場合

Against

を用ゆるなり

第二十三 分立即或部分を全体より區別して記することを表す場合

Of

を用ゆるなり

第二十四 殊別即ち一の人間若しくは事物を他の人間若しくは事物より區別することを示す場合

From

を用ゆるなり

第二十五 離隔即ち一の事物が他の事物の外部に

あることを示す場合

From, Of, Off,

Out of,

を用ゆるなり

第二十六優等なることを示す場合

Above,

を用ゆるなり

第二十七劣等を示す場合

Beneath

を用ゆるなり

第二十八權威を示す場合

Over,

を用ゆるなり

第二十九從屬を示す場合

Under,

を用ゆるなり

第八章 接續詞 Conjunctions.

177. 接續詞とはいかに

曰く接續詞とは連結の語にして連結の外他の目的に用ゆることなく即ち語と句を相互に連結し又は文と文とを連結するなり

178. 接續詞の二大別如何

曰く接續詞は之を別ちて次のごとし

第一同位接續詞 Coordinative

第二從位接續詞 Subordinative

179. 同位接續詞とはいかに

これは互に關係を有せざる事實を數文が各自に確言する時はこれを同位の文といふこの文を結合する接續詞を同位接續詞といふなり

180. 同位接續詞の種類いかに

曰く同位の數文はこれを四種の方法にて一文に結

合することを得る者なればこの接續詞にも四種の別あり即ち

第一集積接續詞 Cumulative

第二撰擇接續詞 Alternative

第三對照接續詞 Adversative

第四推理接續詞 Illative

これなり

181. 積集接續詞とはいかに

曰くこの種類に屬する接續詞單に一の記述若しくは事實を他の記述若しくは事實に添加する者なり

And, Both...and,

Also, Too

As well as, No less than,

Not only..... but also

Now, Well,

のどときこれなり

182. 撰擇接續詞とはいかに

曰くこの種類に屬する接續詞は一の記述と他の記述との間に撰擇を生ぜしむる者なり即ち

Either...or Neither...nor,

のどときこれなり

183. 對照接續詞とはいかに

曰くこの種類に屬する接續詞は一の記述若しくは事實を他の記述若しくは事實に對照或は對峙せしむる者を云ふなり即ち

But Still, yet

Nevertheless, However,

Whereas, While,

Only,

のどときこれなり

184. 推理接續詞とはいかに

曰くこれは一の記述若しくは事實を他の記述若し

くは事實より推理せしむる者なり

Therefore, Then, So

So Then, For,

のどときこれなり

185. 従位接續詞とはいかに

曰く一の文か自己獨立にて完全なる意義を備ふる能はずして其の意義の點より他の文に従屬する時はこの文は他の文に従位なりと云ふ即ちこの従位の文を主文に結合する接續詞をいふなり

186. 従位接續詞の種類いかに

曰く一の文を他の文に従屬せしむる重なる方法九あり故にまた従て九種あり

第一同格これは最も簡單なる者なり即ち

That

のどときこれなり

第二原因若しくは原由

Because, Since

As

のどときこれなり

第三結果

That

を以て示すなり

第四目的

That, Inorder,

So that, Lest

のどとし

第五條件

If, Unless

Provided, As if

Whether

のどときこれなり

第六讓歩若しくは對照

Thought, Although,
However Notwithstanding-That,

のこどきこれなり

第七比較

As...As As much as,
No less than, Than,.

のこどきこれなり

第八範圍若しくは仕方

As, So for as,
According as, As...So

のこどきこれなり

第九時

As, As soon as,
While, Before, ere
Until, After, Since,
So long as

のこどきこれなり

第九章 間投詞 Interjections.

187. 間投詞とはいかに

曰く間投詞とは他の種類の語の如く文章の他の部分と繋る語に非ずして他の部分より全く孤立し少しも文法上の関係を有することなければ正當に云ふ時は一個の品詞にあらずして單に或る強き感情又は感動を示すために文中に入れる感嘆の響に過ぎざるなり

188. 間投詞の種類を問ふ

曰く次のごとし

第一喜悅

Hurrah! hurrah!

第二悲嘆

Oh! Ah! Alas!

(66)

問 投 詞

Alack!

第三快樂

Ha! Ha!

第四賞讚

Brave!

第五疲勞

Hiegh-ha!

第六注意

La! Hark! Hush!

Hist!

第七譴責

Fie! eie!

第八輕侮又は嘲笑

Stuff! Bosh! Tut-tut!

l'oooh! Pish! l'shaw!

Tush!

英 文 典

(67)

第九人を呼ぶ時の

Ho! Holla!

第十疑念を示すため

Hum! Hem! Humph!

第二編

第壹章 總論

1. 文章の例を示せ

曰く次のごとし

1. We must be cautious in our movement.
2. The king now told them to do.
3. The pigeons acted on this advice.

2. 確言文の例を示せ

曰く次のごとし

1. A man's success depends chiefly on himself.
2. He did not get much help from others.

2. 命令文の例を示せ

曰く次のごとし

1. Rely chiefly on your own effort.

2. Do not rely much on the help of other.

3. 疑問文の例を示せ

曰く次のごとし

1. Have you finished that task?
2. Why are rice-grains lying here in this lonely place?

4. 願望文の例を示せ

曰く次のごとし

1. God save the queen.

5. 感嘆文の例を示せ

曰く次のごとし

1. What a foolish fellow you have been!
2. How cool the air is!

6. 主辭と賓辭の例を示せ

曰く次のごとし

A ship went out to sea

の文章に於て主辭は

Ship

にして went out は賓辭なり

又 The army advanced rapidly.

の文章に於て Army は主辭にして

Advanced

は賓辭なり

7. 句の例を示せ

曰く次のごとし

- 1. On the river.
- 2. Through thick and thin.
- 3. A bird in the hand.

8. 節の例を示せ

曰く次のごとし

- 1. [This is the house] [where we live].
- 2. [He is poor], but [he is honest]

第二章 名詞

9. 名詞の例を示せ

曰く次のごとし

- 1. Columbus.
- 2. Buffaloes
- 3. Flowers.
- 4. Man.
- 5. Dog

10. 固有名詞の例を示せ

曰く次のごとし

- 1. James.
- 2. Gulist'an
- 3. Lucknow
- 4. India

11. 普通名詞の例を示せ

曰く次のごとし

- 1. Mon
- 2. Book.
- 3. Countory

12. 集合名詞の例を示せ

曰く次のごとし

- | | |
|----------|---------------|
| 1. Army. | 2. Fleet |
| 3. Jury | 4. Committee. |

13. 物質名詞の例を示せ

曰く次のごとし

1. Fish live in water.
2. Fish is good for food.

14. 抽象名詞の例を示せ

曰く次のごとし

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. Cleverness | 2. Height |
| 3. humility | 4. Poverty |
| 5. Manhood | 6. Movement. |
| 7. Revenge. | |

15. 男性を女性より區別する三種の方法を

り其の例いかに

曰く次のごとし

第一別種の語を用ゐて

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. Boar (男性) | Sow. (女性) |
| 2. Boy | Girl. |
| 3. Bull | Cow. |
| 4. Drake | Duck. |
| 5. Sir | Madam. |

第二語を附加して

甲添言を加へて

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. Billy-goat | Manny-goat. |
| 2. Buck-rabbit. | Doe-rabbit. |
| 3. Cock-sparrow. | Hen-sparrow. |
| 4. Jack-ass | She-ass. |

乙添尾語を加へて

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. Grand-father | Grand-mother. |
| 2. Great-uncle | Great-aunt. |
| 3. Land-lord | Land-lady. |

4. Servant-man Servant-maid

第三男性の語尾に *ess* を附加して

1. Author Author-ess.
 2. Baron Baron-ess.
 3. Count Count-ess.
 4. God Godd-ess.
 5. Host Host-ess.

16. S を附して單數を復數とする例を示せ

曰く次のごとし

1. Hand (單數) Hands (復數)
 2. House Houses

18. 單數を復數とする諸特例を示せ

曰く次のごとし

1. Glass Glass-es
 2. Box Box-es
 3. Duty Duties

4. Fly Elies
 5. Day Days
 6. Play Plays
 7. Cargo Cargoes
 8. Mango Magoes

第三章 形容詞

17. 固有形容詞の例を示せ

曰く次のごとし

1. The Indian Plains.
 2. A Chinese Pilgrim.
 3. The Turkish empire.

18. 叙述形容詞の例を示せ

曰く次のごとし

1. A sick lion
 2. A large field

3. A black horse

19. 量形容詞の例を示せ

曰く次のごとし

- | | |
|---------|------------|
| 1. Much | 2. Little |
| 3. No | 4. Some |
| 5. Any | 6. Enough. |

20. 数形容詞の例を示せ

曰く次のごとし

- | | |
|----------|---------|
| 1. One | 2. Two |
| 3. Three | 4. All |
| 5. Some | 6. Many |

21. 指示形容詞の例を示せ

曰く次のごとし

- | | |
|---------|---------|
| 1. The. | 2. This |
| 3. That | 4. A. |
| 5. An. | 6. Such |

7. other

8. The other

22. 分配形容詞の例を示せ

曰く次のごとし

- | | |
|-----------|------------|
| 1. Each | 2. Every |
| 3. Either | 4. Neither |

23. 屬性的用法の例を示せ

曰く次のごとし

1. A lame horse.
2. A noble character.

24. 叙言的用法の例を示せ

曰く次のごとし

1. That horse went lame.
2. His character is noble.

25. 形容詞代用言の諸例を示せ

曰く次のごとし

1. A fallen tree. (第一)

- 2. The down train. (第三)
- 3. A river fish. (第三)
- 4. My book. (第四)
- 5. Water to drink. (第五)
- 6. A man of virtue (第六)
- 7. The book that you lent me will not be lost (第七)

第四章 代名詞

26. 人代名詞の例を示せ

曰く次のごとし

- 1. I 2. We
- 3. You 4. He
- 5. She

27. 反照代名詞の例を示せ

曰く次のごとし

- 1. Myself. 2. Ourselves.
- 3. Yourselves 4. Thyself.
- 5. Himself 6. Themselves.

28. 指示代名詞の例を示せ

曰く次のごとし

- 1. This. 2. That.
- 3. These. 4. Those.
- 5. One. 6. Ones.
- 7. None. 8. Such.

29. 疑問代名詞四種の形例を示せ

曰く次のごとし

- 1. Who spoke? (第一)
- 2. Of whom did he speak? (第二)
- 3. What did he say? (第三)
- 4. Whose book is that? (第四)

第五章 動詞

30. 他動詞の例を示せ

曰く次のごとし

1. The man killed a snake.
2. I do not know whether he has come.

31. 賓言の諸形の例を示せ

曰く次のごとし

1. The man killed a snake with his stick. (第一)
2. The man lifted me up out of the water. (第二)
3. He desires to leave us tomorrow. (第三)
4. He disliked sleeping in the day-time. (第四)
5. No one knew how to make a begining. (第五)

6. We do not know who has come (第六)

32. 重複賓言の例を示せ

曰く次のごとし

1. Bring me that book.
2. I forgave him his faults.
3. He left them all his wealth.
4. This man bears me a grudge.
5. He promised me his help:

——ハ間接 ——ハ直接

33. 賓言としての関係代名詞を省畧する例
を示せ

曰く次のごとし

1. The books I bought cost three rupees. (第一)
2. The man I engaged has now come (第一)
3. The chairs we sat on are ten in number. (第二)

4. I have brought the book you spoke about.

(第二)

34. 他動詞を自動詞に變ずる例を示せ

曰く次のごとし

1. Men eat to preserve life.
2. A new born child sees, but a kitten is born blind.

以上第一例

3. He drew near me.
4. Move forward.

以上第二例

35. 自動詞の例を示せ

曰く次のごとし

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. River flow. | 2. Winds blow. |
| 3. Horses run. | 4. All animals sleep. |

36. 自動詞の完成言の例を示せ

曰く次のごとし

1. A horse is a four-legged animal.
2. The man has fallen sick.
3. The man went mad.

37. 同類賓言の種類例を示せ

曰く次のごとし

第一

1. He died a sad death.
2. He lived a long life.

第二

1. He went a long way.
2. It blows a brisk gale.

第三

1. They shouted applause.
2. He played the fool.

第四

- 1. He ran his fastest.
- 2. He fought his best.

第五

- 1. We must fight it.
- 2. Lord Angels dukes it.

38. 或る文章を能動調より所動調に變する
例を示せ

曰く次のごとし

- 1. Brutes cannot make tools. (能動調)
- 1. Tools cannot be made by frutes. (所動調)
- 2. Brutes do not possess hands. (能動調)
- 2. Hands are not possessed by brutes. (所動調)

39. 直接法の動詞には三種の時と十二種の
形あり其の例を示せ

曰く次のごとし但し能動調の場合

形	現在時	過去時	未來時 (能動調)
不定形	I love.	I loved.	I shall love.
連続形	I am loving.	I was loving	I shall be loving
完了形	I have loved.	I had loved.	I shall have loved.
完了接	I have been.	I had been	I shall have
續形	loving.	loving.	been loving.

40. 命令法の用法の例を示せ

曰く次のごとし

- 1. Awake, arise, or be for ever fallen.
- 2. Go to the aut, thou slaggard; consider her ways and be wise.
- 3. Give us this day our daily bread, and forgive us our trespasses, as we forgive them that trespass against us.
- 4. Do not taste that food.

41. 接續法の用法はいかに其の例を示せ

曰く次のごとし

- 1. I give you a prize, that you may work

well.

- 2. May thy kingdom come.
- 3. If he should meet me, he would know me at once.
- 4. Murder, though it have no tongue, will speak.

42. 名詞不定法の用法の例を示せ

曰く次のごとし

- 1. To err is human; to forgive is divine.
- 2. A good man does not fear to die.
- 3. They appears to be a wise man.
- 4. He did nothing else than laugh.
- 5. Foolish fellow! to suppose that he could be pardoned!

43. 名動不定法の例を示せ

曰く次のごとし

- 1. He came to see the sport.
- 2. This house is to let.
- 3. Quick to hear and slow to speak.
- 4. They were thunderstruck, so to speak, on hearing this news.

44. 名動詞の形の例を示せ

曰く次のごとし

	能動調	所動調
現在若クハ連続	loving.	Being loved.
完了.....	having loved.	having been loved.

第六章 副詞

45. 單純副詞の諸例を示せ

曰く次のごとし

- 1. He did this before, and you have done it since.
- 2. We must rest here, and not there.

3. He did this once, but he will not do it again.
4. He did his work slowly, but surely.
5. He is almost, but not quite, the cleverest boy in the class.

46. 疑問副詞の諸例を示せ

曰く次のごとし

1. When he did come?
2. Where did he stop?
3. How often did the dog bark?
4. How did he do this?
5. How far was that report true?
6. Why did he do this?

47. 属性的用法の例を示せ

曰く次のごとし

1. He is entirely wrong.

2. He did his work very badly.
3. Half through the door.

48. 叙言的用法の例を示せ

曰く次のごとし

1. My son is well today.
2. He will be better soon.
3. The game is over.

第七章 前置詞

49. 賓言と前置詞との関係の諸例を示せ

曰く次のごとし

1. We must be ready by then.
2. He has come from beyond-the-seas.
3. He told every one of what-he-hod-heard.

50. 賓言省畧の例を示せ

曰く次のごとし

1. The man we were looking for.
2. A chair to sit on.

51. 單純前置詞の例を示せ

曰く次のごとし

- | | |
|---------|--------|
| 1. At | 2. by |
| 3. with | 4. for |
| 5. on | 6. of |
| 7. in | 8. off |
| 9. to | 10. up |

52. 重複前置詞の例を示せ

曰く次のごとし

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. Into | 2. from under |
| 3. onto | 4. over against |
| 5. from among | |

53. 合成前置詞の例を示せ

曰く次のごとし

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. Across | 2. behind |
| 3. Along | 4. About |

54. 分詞狀前置詞の例を示せ

曰く次のごとし

- | | |
|------------|-----------|
| 1. Pending | 2. During |
| 3. Except | 4. Save |

55. 句前置詞の例を示せ

曰く次のごとし

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. By mean of | 2. In spite of |
| 3. With regard to | |

56. 假体前置詞の例を示せ

曰く次のごとし

- | | |
|-----------|----------|
| 1. Rupees | 2. Weeks |
|-----------|----------|

第八章 接續詞

57. 同位接續文の例を示せ

曰く次のごとし

1. The one received a prize, and the other was promoted.
2. Either this man sinned or his parents.
3. He is sad, but hopeful.
4. He will die some day; for all man are mortal.

58. 從位接續文の例を示せ

曰く次のごとし

1. He told us that rain had fallen.
2. He will succeed, because he has worked hard.
3. He talked so much, that he made himself hoarse.
4. Men work, that they may earn a living.
5. I will do this, if I am allowed.

6. He will never succeed, however much he may try.
7. He is as clever as I.
8. This is not true, so far as I can find out.
9. He called at home, as the clock struck four.

最新問答全書英文典終

官立諸學校入學試驗問題(英文典)

高等學校

三十三年度

Correct the following sentences

- (1) He did it like I told him.
- (2) This is the book what I referred.
- (3) He thinks he know more than anybody
- (4) If he had not been slain so young, he may grow a useful man,

三十四年度

Correct the following sentences:

- (1) I am unwell since I have seen you last.
- (2) I think he ought to yesterday.
- (3) I haven't a knife, but he has it.
- (4) The room's door has been open from ten o'clock.
- (5) Be careful to not break it.

三十五年度

- (1) Write the comparative forms of the following adjectives: angry, clean, hot, far.
- (2) Rewrite the following sentence by changing the voice of each verb:—
They say that the Emperor has paid a visit.
- (3) Correct the following sentences:—
(a) It rained since Monday last.
(b) He told me that how well he has been.

三十六年度

- (1) Write the past tenses and the past participles of: lie lay, swim, fly, stick
- (2) Change the following sentences into simple ones expressing the same idea;
- (1) He ground it so that it became powder.
(2) This picture is so good that

- it may be sent the exhibition.
- (3) Fill the blank or correct the errors in;
- (1) which of Paris or Berlin is the larger city?
(2) He died() fever () the age of thirty.
(3) *Tofu* is a kind of the food which is made from beans.

三十七年度

- (1) Correct the mistakes, if any, in the following sentences: —
- (a) I have heard him to say so.
(b) They asked a question of him.
(c) It is you that is mistaken, not me.
(d) He is reported to be killed in the late war.
- (2) Change (a) into the direct form of narration, and (b) into the indirect

form. —

(a) My father told me not to tell a lie.

(b) He said to me, "Have you ever been in America?"

三十八年度

State the parts of speech of the underlined words in the following sentence.

(a) I can not but think that he is not such a fool as I expected.

(b) He must needs work hard

Correct the errors, if any; in the following sentence:—

(a) I will that I am as wise as him

(b) The most children go to beds early.

Insert prepositions in the places left blank:—

(a) I have heard — him, but I do

(b) I have been suffering — influenza — two weeks;

三十九年度

(1) Correct the errors, if any, in the following sentences:—

(a) The flowers smell very sweetly:

(b) He has left here, before I went to see him,

(c) Had he studied more carefully, have succeeded,

(2) Insert suitable simple prepositions:—

(a) I have been invited _____ Mr, B, _____ dinner,

(b) It is very kind _____ you to help me,

四十年年度

(1) Give the plural of each of following nouns:—

(1) Negro.....

(2) Wife

(3) Mouse

(4) Foot-man

(2) Correct the errors; if any, in the

following sentences :—

- (1) I want you to clearly understand how I am sorry about you.
- (2) Two nations; when one makes war on the other; it is sometimes difficult to tell, where the blame lies
- (3) Expand each of the following simple sentences into a complex one ;—
 - (1) He is generally believed to have died of poison.
 - (2) Milton was the greatest poet in King Charles's reign.

海軍機關學校

三十三年度

- (1) give the present of the following past participles :— Rorn, found, drawn, flown.
- (2) Mention four kinds of proper nouns that generally take their definite articles.

- (3) Exemplify all the tenses of the indicative mode.
- (4) Change the following direct quotations into indirect :—

Mr. Brown said, " I am going to a walk " He asked me. " what is your name ? "
- (5) Correct the following sentences :—

I am much fond to hunt. Shall you kindly lent me your knife ? Any one two come here in my absent. I born at country of Musashi.

三十四年度

- (1) Correct the mistakes in the following sentences :—
 - (a) Neither boy has learned their lesson.
 - (b) The boy was accompanied by an old lad lady, who I think to be his mother
- (2) Give the past and the past participle

of the following verbs:—

cut, throw, keep, go, ride, spring,
read.

(3) Insert appropriate words in the places
left blank:—

(a) There are many islands—the
coast of Hizen.

(b) The two soldiers were killed—
the same moment.....

(4) State the peculiarity of a collective
noun; write the answer in English,
and give an example containing a coll
ective noun.....5.

三十五年度

(1) Compare the following adjectives:—

	Comparative	Superlative;
well		
much		
far		
bad		
little	20.

(2) Write the following sentences

in the plural form:—

1. A sheep bleats	1. plural form
2. Man is mortal	2.
3. The knife was lost.	3.
4. I have won prizes.	4.
5. This watch is made of gold	5.20

(3) Supply suitable prepositions;—

What is the matter () you? This
book is different () mine.

The man was accused () theft I
get up () five o'clock. What did
you go there () ?

The sun shines () the day time.

According () the Jiji, it took
place () the 14th inst.

I called () you yesterday, but we
are not () home20

(4) Correct the following sentences:—

I. Moon shine bright. | 1.

- | | | |
|-----|---|-----|
| 2. | This apple tastes sweetly. | 2. |
| 3. | The boy is sick for a week now. | 3. |
| 4. | He is not as tall as me. | 4. |
| 5. | Has you gone to England ? | 5. |
| 6. | I will be unhappy then. | 6. |
| 7. | He said he saw Tom yesterday. | 7. |
| 8. | I have catched cold. | 8. |
| 9. | I wanted a umbrella but nobody had it. | 9. |
| 10. | The last night in my way to home, I lose my gold watch. | 10. |

三十六年度

Correct the mistakes in the following sentences :—

- (1) I were very suprised to hear it.
- (2) He explained his meaning much clear.
- (3) Of these houses yours is very thu largest.
- (4) Of these houses my is the much lagest.
- (5) Doesn't you know whom taken my knife? Yes, I doesn't.
- (6) Has you not finistthed your work yet? No, I did.
- (7) There was a very clever boy wh ocould answer any question.
- (8) The moon rose in twelve o'clock of the night.

三十七年度

Give the plural of the following nouns :—

- (1) Leaf, gulf; major-general; commander-in-chief.

Correct the mistakes:—

- (2) Asama, wan-of-war, came here two days before.

- (3) What hour the train leave to Kobe?

Supply the proper tense of the verbs enclosed in brackets:—

- (4) I (write) for the last two hours.
 (5) Our fleet not (go) far when the enemy appeared.

Give the past and the past participle of the following verbs:—

- (9) Win; seek; mistake.

三十八年度

Give the past of the following verbs:

- (1) Offer; refer; conquer.

Insert appropriate prepositions:—

- (2) A soldier must guard () a sudden attack.

- (3) He is anxious () the result of his

examindtion.

Correct the mistakes:—

- (4) I will not go there again, if I was you.
 (5) He live at a mile distant from the town.
 (6) Explain the uses of "may."

三十九年度

(Write your answers on this paper.)

- (1) Give the plural of the following nouns:—

Singular.	Singular	plural
Roof	Duty	
Shelf	Axis	
Cargo	Court-martial	

- (2) Compare the following adjectives:—
- | | Comparative. | Superlative. |
|-------|--------------|--------------|
| Thin | | |
| Merry | | |

- (3) Substitute pronouns for the italicised words:—
- ones

Many of the towns in England are
very large towns.

This hat is my hat.

That is your hat.

mine yours

- (4) Supply the proper article, if necessary.

Formosa is island.

The Lake Biwa is largest lake in Japan

Fujikawa has overflowed its banks

- (5) Insert the prepositions omitted:—

The ship was prepared battle.

Come and see me any time.

He is sure success.

- (6) Correct the mistakes in the following sentences:—

I saw him to enter the house.

This is the same man who has called yesterday.

I will not go there, if I were you.

If you ran, you should have eught

the train

- (7) Supply the proper tense of the verb enclosed in brackets:—

I not yet (finish) the book you lend me.

He (leave) here a moment ago.

The ship (run) only a short distance when she was overtaken by the enemy.

- (8) Supply "shall" or "will":—

Simple futurity

I () work. we () work.

Thou () work. You () work.

He () work. They () work

四十年度

次ノ文章ノ誤謬ヲ訂正セヨ

- (1) My house is wood, but our school is the brick.

- (2) I asked him to lend me a knife, but he says he hadn't it.

- (3) This school's students are all diligence

- (4) He is very tall than his older brother
- (5) Though he is English, he cannot speak the English with ease.
- (6) I think ever you were in this school. Are you not?
- (7) I shall lend you the money, for I will not need it till the end of this month.

次ノ語ヲ用イテ短文ヲ作レ

- (8) (a) Beside. (b) Besides.
- (9) (a) Between. (b) Among.
- (10) (a) Much. (b) Many.

高等師範學校

三十九年度

次の文の誤謬らば之を訂正し且つ其理由を述べよ

- (a) I wish there was some way in which I could be of of service.

- (b) He has one of the most intelligent faces that ever was seen.

四十年度

次の文章に誤あらば之を正せ

- (a) People says the cold is more severe this year than the last.
- (b) Of what you are thinking?

陸軍士官學校

三十三年度

(1) 語ノ複數ヲ作レ

Axis, Half, sheep, radius, phenomenon, passe-by.

(2) 次ノ文章ニ誤謬アラバ訂正セヨ

- (a) A line coincides to another.
- (b) I have finished my letter last evening.
- (c) The watch was found long after the theives was caught.
- (d) Have you not been ill? Yes, I have not been ill,

三十四年度

- (1) Personal pronouns = 就テ declension
ヲ記セ
- (2) 下ノ文章ノ誤謬ヲ正セ
 - (a) For many years been living on
Japan.
 - (b) We thoughted the boy bringed
the book.
 - (c) She was read five pages on yester
day.
 - (d) I ever saw Mr John when I
was in a my native town.

三十五年度

- (3) To kill ヲ he ヲ主格トシテ総テ用法
ヲ示セ
- (4) 左ノ文ノ誤謬ヲ直セ
 - (a) My father is now tokyo and
is seriously sickness.
 - (b) I began to ride him but the reins
was so breaked.
 - (c) He asked on me to say good bye.

- (d) He did not know who he shoul
dsend.
- (e) I have never see him laety.

三十六年度

- (2) 次ノ文章ヲ訂正セヨ
 - (1) Which of thin or thick paper si
better?
Yes, I like thin paper very much
 - (2) With how much freind of you
went?
 - (3) I is from Japan.
 - (4) The boy is a pretty book

次ノ文章ノ parts of speach 及ビ parshnig
ヲ英語ニテ記セ

Mr, Sato mill take care of younyer
children

三十七年度

- (1) I read at my desk while he wrote
上文中ニ就テ letter, word, phrase,
senienco ヲツツ、抜キテ下ノ表中
ニ記入セヨ

letter	
word	
phrase	
sentence	

(2) 下ノ文ノ誤謬ヲ訂正セヨ

- (a) This letter is written by English
- (b) Did you saw whose brother?
- (c) I was sended to a more good province than he.

(3) I was telling a story to my brother when John came in.

上文中ニ於テ transitive verb intransitive verb ト object トヲ下ノ表中ニ記入セヨ

transitive verb	
intransitive verb	
object	

三十八年度

(1) We saw him wear the order given him to mark out his bravely.

上文中ニ於テ infinitive ト participle トヲ書ケ

(2) Correct the errors.

- (a) We fought the enemy a Japanese sword in our hand.
- (b) What year has your brother lived here?
- (c) The Japan-China War broked in 1894.

(3) 下ノ例ニテ Mr. Smith ノ代リニ interrogative pronun ヲ入レヨ
Did Mr. Smith tell you so?
Is this the number of M. Smith's house?

四十年年度

次ぎ文に誤あらば之を正せ

(1) (a) Then he heard anybody to come in.

(22) 高等學校

(b) Who shall I let run to this errand?

(c) My uncle returns every three years.

(2) 下の各動詞の indicative past と past participle とを下の欄に記入せよ

	Indicative past	Pastparticiple
catch		
fight		
read		
sink		
write		

(3) 下の形容詞の比較及び最上級の形を下の欄入に記入せよ

	Comparative degree	Superlative degree
bad		
good		
famous		

hot		
write		

大阪高等工業學校

三十八年度

Correct the errors in the following sentences.

A. Did you went to Kyoto yesterday?

B. No, I went to home.

A. Have you graduated the Osaka Higher Technical School?

B. No, I have just entered to that school

A. Are you not a American?

B. Yes I am not.

三十九年度

Correct the following sentences.

(1) who do you speak to?

(2) Has he gained a prize or scholarship?

(3) There are many fishes in the pond.

(4) The book's cover is red.

(5) I shall never do such a thing again.

四十年度

(1) 次ノ各動詞ノ past tense 及 past participle ヲ列記セヨ

To set, to lie, to fly, to read, to wear, to light.

(2) 次ノ各文章中ニテ若シ誤謬アラバ之ヲ訂正セヨ

1. He is dead twenty years ago.
2. Have you ever been to Nara?
3. On what time shall I saw you?
4. He is one of the best and the wisest men who has ever lived.
5. I do not know the difference of the two.

水産講習所

三十八年度

(1) Write a sentence in the Indicative Mood, Active Voice, using the verb "to read,

中學檢定試験

三十六年度

○此文法問題各項文中にある(1)(2)等は次の英文和譯の番號を指す

- I. Tell the use of "known" and "rule" in (I)
- II. tell the moods and tenses of verbs in (II)
- III. tell the grammatical office of "but" in (III)
- IV. Explain the ellipsis in "if you could, you would" in (IV)
- V. Tell the use of the phrases, "to add to their sufferings" and "to lie down on the ground" in (V)

水産講習所

三十八年度

(1) Write a sentence in the Indicative

Mood, Active Voice, using the verb "to read."

(2) Change the following sentences into Passive Voice.

(a) We cannot depend upon what he said.

(b) The savage struck him with a club.

(3) Correct any mistakes that you may find in the following passage:—

A lion, while quietly sleeping, were surrounded by some mice.

They began dancing a round he, and at last one young mice jumped

up on his body and scampered across his face. The lion awake with

a roar, and the mice run away:

but the young mouse were stopp'd by the lion's paws.

(4) Name the classes of Nouns which may be used without any article.

三十九年

(1) Change the following pairs of sentences into single conditional sentences:—

(a) Did he take the path to the right?—then he has gone home.

(b) Are you afraid for his health?—then do not send him to China

(2) In the following sentences change the object of the verb into the subject of the sentence:—

(a) The bee stung the child on the arm.

(b) The intense cold froze even the mercury.

(c) She wore a wreath of roses at night.

四十年度

Parse the following in all its parts:—

Whoever desires that his intellect may grow up to soundness must begin with moral discipline

三十七年度

(1) Correct the errors:—

- (a) Have you gone to the school to-day?
- (b) This class's students are diligence,
- (c) I am working at this problem during the last ive hours.

(2) Change the following sentence into Indirect narration:—

He asked me, "Have you read to-day's paper?"

(3) Fill the blanks with appropriate words:—

- (a) I bought the book — a store — Jinbocho.
- (b) He is generally absent — the mornings, except — Sunday mornings.

(4) Which of the underlined forms is breferable? Give the reason:—

- (a) Many a captain with all his crew

have (has) been lost at sea.

- (b) If I were (was) in his place, I would go.

三十八年度

(1) What is the part of speech of "Acndn-other's"

(2) Conjugate the verbs "To know."

(3) What does "It refer to?"

(4) Tell the mood and tense of the verb "Imagine."

(5) Supply the ellipsis in "Whe nmaking off."

(6) What is the antecedent of the relative pronoun "which"?

(7) Why is "might" preferred to "may" in this case?

三十九年度

II. Supply appropriate prepositions;—

(a) Japan is a small country. It consists—four gprincipal islands.

(b) Whatever you deciede—, stick—it

and do not despair—success.

(c) This business must be attended—
birst.

(d) His words can not be relied—.

III. Correct the errors :—

(a) Will you please tell me this word's
meaning.

(b) She is not as tall me, but by no
means the short of all.

(c) Mikasa is ship that made in England.

(d) He was glad that he can read the
paper without any difficult.

IV. Explain the uses of those underli
ned;—There are many *books on my*
table which you will find it interesting
to read.

四十年 度

(1) Convert the following from Direct.
to Indirect.---

John said, "Our friend arrived here
but will go to-day."

(2) Rewrite the following without alter-
ing the sense :—

The *sun* is *too hot* for us to go ou

(3) Insert prepositions :—

The river — which I went — my bro-
-ther abounds — ish; we took a boat
and rowed — the stream—the oppo-
site bank.

(4) Put suitable pronouns in the places
left blank.

Health is of more value than money;
— cannot give such *true* happiestta
s—.

明治四十一年四月廿三日印刷
明治四十一年四月廿六日發行

最新問答全書
英文典與付

不許複製

定價金貳拾錢

編纂者	嶋村東洋
發行者	辻本末吉
印刷者	熊田敏
印刷所	熊田活版所

東京市神田區表神保町七番地
東京市神田區錦町三丁目廿五
東京市神田區錦町三丁目廿五

發行所

東京市神田區表神保町
電話替口座(三二二八)
電話本局(一七五三)

修學堂書店

083197-000-9

特65-13

英文典

島村 東洋/編

M41

DAH-0684

